

飲料自動販売機設置事業実施要領（陶器スポーツ広場）

1 設置場所等

所在地：①～③ 陶器スポーツ広場（堺市中区陶器北 434）

設置場所	台数	品目	最低貸付料【基準面積】 （税抜、年額）	位置図
陶器スポーツ広場管理棟 【屋外】	1 台	清涼飲料水 （密閉式）	16,000 【0.75 m ² ～1.25 m ² 】	①
陶器スポーツ広場管理棟 内【屋内】	1 台	清涼飲料水 （密閉式）	18,000 【0.75 m ² ～1.25 m ² 】	②
陶器スポーツ広場管理棟 内【屋内】	1 台	清涼飲料水 （密閉式）	18,000 【0.75 m ² ～1.25 m ² 】	③

・陶器スポーツ広場（①～③）の貸付については、上表の最低貸付料の金額で公有財産賃貸借契約を締結させていただきます。使用面積（回収ボックス含む）が上表の基準面積1.25 m²を上回る場合は0.1 m²までごとに最低貸付料の10分の1を加算します。基準面積0.75 m²を下回る場合は最低貸付料の半額とします。貸付料（年額）については、本市の発行する納入通知書により、その指定する納入期限までに納入してください。

2 使用条件

- ① 法令の規定により販売について許認可等を要する場合は、その許可を受けること。
- ② 販売品の搬入、廃棄物の搬出等を行う場合は、施設利用者の活動に支障のないように行うこと。
- ③ 自動販売機を設置する権利を第三者に譲渡し、若しくは転貸し、又は担保に供しないこと。
- ④ 施設利用者が水分を補給するために飲料を購入できるようにすることが自動販売機の設置目的であるため、販売品目は、酒類及びアルコールテイスト飲料を除く清涼飲料水及びアイスクリーム製品等にすること。
- ⑤ 自動販売機1台に1個の回収ボックスを設置し、申請者の責任で適切に回収・リサイクルすること。
- ⑥ 自動販売機、回収ボックス、自動販売機周辺は清潔に保つこと。
- ⑦ 清涼飲料水等の自動販売機については、利用者へのサービスの向上や大会スポンサー等の関係に配慮し、1社に限らず複数社の飲料水提供に努めること。なお、必要に応じ飲料メーカー名は、表示制限を受ける場合があり、申請者はセンターの円滑な運営を図るために協力、調整を行うこと。

- ⑧ 売上高については、市が報告を求めた場合は速やかに提出するとともに、自動販売機の収入は、利用者のサービス向上に努めるものとする。

3 経費負担

① 光熱水費

自動販売機設置に係る電気料金は、申請者が施設電気料金と併せて支払うこと。

② 設置運営経費

自動販売機の設置、維持管理及び撤去に係る費用、使用部分の清掃、消毒等の衛生管理、ごみ処理等、使用部分の維持管理に伴う経費、その他事業運営に係る一切の経費は申請者の負担とする。

4 維持管理責任

自動販売機の設置にあたっては、次のことを遵守すること。

- ① 自動販売機の設置管理、故障時の対応、商品の補充、金銭管理など自動販売機の維持管理については、申請者が責任を持って行うこと。また、商品の賞味期限に注意するとともに、在庫・補充管理を適切に行うこと。
- ② 自動販売機の問い合わせ、苦情については、申請者の責任において対応すること。また、故障時の連絡先を自動販売機の見やすい位置に明記すること。
- ③ 自動販売機には容器の回収ボックスを併設し、申請者において適切に回収、処理すること。また、回収した容器については、リサイクルに努めること。
- ④ 衛生管理及び感染症対策については、関係法令等の遵守・徹底を図るとともに、関係機関等への届出、検査等が必要な場合は、遅滞なく手続きを行うこと。
- ⑤ 自動販売機等の設置については、転倒防止措置を講ずるとともに、利用者の安全確保のため、毎日設置状況を点検し安全の確認をすること。
- ⑥ 自動販売機等に異常があった場合は、自動販売機等の撤去など利用者の安全確保を重視して、適切かつ迅速に対応すること。
- ⑦ 事故防止を徹底し、万一事故が発生した場合には、すべて申請者の責任と負担において対処するとともに、直ちに本市に報告すること。

5 原状回復

事業期間が満了したとき、または本市による賃貸借契約の取消し等があったときは、自らの費用で、本市の指定する期日までに使用物件を速やかに原状に回復すること。

6 損害賠償

申請者は、その責に帰すべき理由により、使用物件の全部または一部を滅失、または棄損したときは、当該滅失または棄損による使用物件の損害額に相当する金額を損

害賠償として支払わなくてはならない。ただし、使用物件を原状に回復した場合は、この限りではない。

また、定める義務を履行しないために本市に損害を与えたときは、その損害額に相当する金額を損害賠償として支払わなくてはならない。